

第三次健康ふくしま21計画の一部目標値の変更について（部会案）

資料3

主要施策	目標項目	現況値	基準値	目標値（旧）	目標値（新）	目標値の設定根拠等			
NO.3 基本健康寿命の延伸と健康格差の縮小	健康格差の縮小（福島県内地域別「お達者度」の延伸を前提とした差の縮小）	男性	R1	R4	R14	R14	○当初の目標値の設定根拠 ・当該地域差は、2013年の算定以降拡大傾向にあるため、2013年の差まで改善する目標値を設定。 ○変更後の目標値の設定根拠等 ・本目標項目の改善に向け、福島県版健康データベースの活用による地域の健康課題の見える化や圏域単位での協議会の実施などにより地域・職域に密着した効果的な健康づくり施策を推進してきたところ。 ・引き続き施策を推進することで、H25からR4までの差の縮小（9年で△0.3年、1年当たり0.033年）と同水準の差の縮小（R4からR14の10年で△0.33年）を目指し、1.03年とする。		
			2.12年	1.36年	1.66年	1.03年			
			(参考)値の推移	H25	H28	R1		R4	
				1.66年	2.23年	2.12年		1.36年	

主要施策	目標項目	現況値	基準値	目標値（旧）	目標値（新）	目標値の設定根拠等		
NO.11 1-1(1) 栄養・食生活	1日当たりの野菜摂取量の増加（20歳以上）	男性	H28	R6	R14	R14	○当初の目標値の設定根拠 ・健康日本21（第三次）の目標値と同一とする。 ○変更後の目標値の設定根拠等 ・本目標項目の改善に向け、市町村や企業、関係機関等と連携し、主食・主菜・副菜が揃ったバランスの良い食事やベジファーストの普及啓発等を推進してきたところ。 ・基準値が従来の目標値の350gを超えたところであるが、国が目標とする350gの水準を引き続き維持していくことを目指し「350g以上」とする。	
			347g	356g	350g	350g以上		
			(参考)値の推移	H24	H28	R6		
				318g	347g	356g		

主要施策	目標項目	現況値	基準値	目標値（旧）	目標値（新）	目標値の設定根拠等		
NO.12 1-1(1) 栄養・食生活	1日当たりの野菜摂取量の増加（20歳以上）	女性	H28	R6	R14	R14	○当初の目標値の設定根拠 ・健康日本21（第三次）の目標値と同一とする。 ○変更後の目標値の設定根拠等 ・本目標項目の改善に向け、市町村や企業、関係機関等と連携し、主食・主菜・副菜が揃ったバランスの良い食事やベジファーストの普及啓発等を推進してきたところ。 ・男性の目標設定に合わせ、「350g以上」とする。	
			314g	297g	350g	350g以上		
			(参考)値の推移	H24	H28	R6		
				269g	314g	297g		

主要施策	目標項目		現況値		基準値		目標値（旧）		目標値（新）		目標値の設定根拠等
NO. 15 1-1 (2) 身体活動・運動	日常生活における1日当たりの歩数の増加（20歳～64歳）	男性	H28		R6		R14		R14		○当初の目標値の設定根拠 ・健康日本21（第三次）の（20歳～64歳の）目標値と同一とする。 ○変更後の目標値の設定根拠等 ・本目標項目の改善に向け、ふくしま健民アプリによる動機付け等の運動習慣の定着と拡大に向けた取組を推進してきたところ。 ・国の健康日本21（第三次）の20歳～64歳の目標値が9,000歩に引き上げられることから、この目標値と整合を図り「9,000歩」とする。 ※国詳細：20～64歳9,000歩、65歳～7,000歩、合算目標値8,000歩
			7,297歩		9,252歩		8,000歩		9,000歩		
			(参考) 値の推移	H24	H28	R6					
				8,576歩	7,297歩	9,252歩					

主要施策	目標項目		現況値		基準値		目標値（旧）		目標値（新）		目標値の設定根拠等
NO. 16 1-1 (2) 身体活動・運動	日常生活における1日当たりの歩数の増加（20歳～64歳）	女性	H28		R6		R14		R14		○当初の目標値の設定根拠 ・健康日本21（第三次）の（20歳～64歳の）目標値と同一とする。 ○変更後の目標値の設定根拠等 ・本目標項目の改善に向け、ふくしま健民アプリによる動機付け等の運動習慣の定着と拡大に向けた取組を推進してきたところ。 ・男性の目標設定に合わせ、「9,000歩」とする。
			6,470歩		6,618歩		8,000歩		9,000歩		
			(参考) 値の推移	H24	H28	R6					
				7,394歩	6,470歩	6,618歩					

主要施策	目標項目		現況値		基準値		目標値（旧）		目標値（新）		目標値の設定根拠等
NO. 21 1-1 (3) 休養・睡眠	睡眠時間が十分に確保できていない者の割合の減少（睡眠時間5時間以下の者の減少）		R4		R6		R14		R14		○当初の目標値の設定根拠 ・前期計画の基準年であるH21以降悪化していることを踏まえ、H21の値まで改善することを目標とする。 ○変更後の目標値の設定根拠等 ・本目標項目の改善に向け、動画コンテンツ等の様々な媒体を通じて、休養・睡眠が健康に与える影響や適切な睡眠時間・休養の方法等についての普及啓発などを推進してきたところ。 ・引き続き施策を推進することで、H21からR6までの改善（15年で△1.1ポイント、年平均0.073ポイント）と同水準の改善（R6からR14の8年で△0.58ポイント）を目指し、9.7%とする。
			20.5%		10.3%		11.4%		9.7%		
			(参考) 値の推移	H21	H30	R3	R4	R6			
				11.4%	20.1%	19.5%	20.5%	10.3%			

主要施策	目標項目	現況値		基準値			目標値（旧）		目標値（新）		目標値の設定根拠等
NO. 22 1-1 (3) 休養・睡眠	疲労を感じている者の割合の減少	R4		R6			R14		R14		<p>○当初の目標値の設定根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去（H21→R4）の数値の改善傾向（年平均0.34ポイント）を踏まえ30%とする。 <p>○変更後の目標値の設定根拠等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本目標項目の改善に向け、動画コンテンツ等の様々な媒体を通じて、休養・睡眠が健康に与える影響や適切な睡眠時間・休養の方法等についての普及啓発などを推進してきたところ。 ・引き続き施策を推進することで、H21からR6までの改善（15年で△10.1ポイント、年平均0.673ポイント）と同水準の改善（R6からR14の8年で△5.38ポイント）を目指し、22.8%とする。
		33.9%		28.2%			30.0%		22.8%		
		(参考) 値の推移	H21	H30	R3	R4	R6				
		38.3%	43.5%	40.1%	33.9%	28.2%					

主要施策	目標項目	現況値		基準値			目標値（旧）		目標値（新）		目標値の設定根拠等	
NO. 47 1-2 (2) 循環器病	脂質異常症の減少（LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合の減少）	男性	R2		R4			R14		R14		<p>○当初の目標値の設定根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期計画の基準年であるH22以降、悪化傾向にあることを踏まえ、H22の基準値まで改善することを目標とする。 <p>○変更後の目標値の設定根拠等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本目標項目の改善に向け、市町村や事業所、関係機関との連携により、適切な生活週間（バランスの良い食生活、適度な運動、喫煙防止、適正飲酒等）の普及啓発などを推進してきたところ。 ・引き続き施策を推進することで、国の健康日本21（第三次）が基準値から25%の減少を目標としていることと同様の考え方で10.4%×0.75=7.8%とする。
			12.4%		10.4%			10.7%		7.8%		
			(参考) 値の推移	H22	H29	H30	R1	R2	R3	R4		
		10.7%	11.3%	11.8%	12.1%	12.4%	12.0%	10.4%				

主要施策	目標項目	現況値		基準値			目標値（旧）		目標値（新）		目標値の設定根拠等	
NO. 48 1-2 (2) 循環器病	脂質異常症の減少（LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合の減少）	女性	R2		R4			R14		R14		<p>○当初の目標値の設定根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期計画の基準年であるH22以降、悪化傾向にあることを踏まえ、H22の基準値まで改善することを目標とする。 <p>○変更後の目標値の設定根拠等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本目標項目の改善に向け、市町村や事業所、関係機関との連携により、適切な生活週間（バランスの良い食生活、適度な運動、喫煙防止、適正飲酒等）の普及啓発などを推進してきたところ。 ・引き続き施策を推進することで、国の健康日本21（第三次）が基準値から25%の減少を目標としていることと同様の考え方で10.9%×0.75=8.2%とする。
			12.7%		10.9%			11.8%		8.2%		
			(参考) 値の推移	H22	H29	H30	R1	R2	R3	R4		
		11.8%	12.2%	12.6%	12.7%	12.7%	12.7%	10.9%				

主要施策	目標項目	現況値		基準値		目標値（旧）		目標値（新）		目標値の設定根拠等
NO. 63、 93(再掲) 1-3 生活機能 の維持・ 向上	骨粗鬆症検診受診率の向上	R2		R5		R14		R14		○当初の目標値の設定根拠 ・健康日本21（第三次）の目標値と同一とする。 ○変更後の目標値の設定根拠等 ・本目標項目の改善に向け、令和7年度に市町村等と骨粗鬆症連携体制検討会議を立ち上げ、市町村を中心とした骨粗鬆症検診受診体制の支援に向けた施策の検討、課題の洗い出しを行っているところ。 ・引き続き施策を推進することで、公表されているH27からR5まで改善（8年で+2.3ポイント、年平均0.288ポイント）と同水準の改善（R5からR14の9年で+2.60ポイント）を目指し、18.0%とする。
		13.2%		15.4%		15.0%		18.0%		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
		13.1%	14.2%	15.5%	15.0%	14.7%	13.2%	15.3%	15.8%	

主要施策	目標項目	現況値		基準値		目標値（旧）		目標値（新）		目標値の設定根拠等
NO. 73 2-3 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤づくり	職域等における給食施設において健康に配慮した食事を提供する施設の割合の増加	R4		R6		R14		R14		○当初の目標値の設定根拠 ・コロナ禍前の水準が52.8%であることを踏まえ、前期計画の目標値と同様に75.0%とする。 ○変更後の目標値の設定根拠等 ・本目標項目の改善に向け、給食施設を有する企業に対する減塩・適量に関する取組とともに、飲食業者等と連携し、健康に配慮した食事等を提供・販売する食環境の基盤づくりなどを推進してきたところ。 ・引き続き施策を推進することで、従来の目標値から10ポイント増加していくことを目指し、85.0%とする。
		72.0%		76.9%		75.0%		85.0%		
		(参考) 値の推移	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
		42.0%	52.8%	84.6%	89.5%	72.0%	79.2%	76.9%		